

## デザイン・アート・医療・看護の専門家が作品を審査

# 「第10回 医美同源デザインアワード」作品募集が開始

一般社団法人菊地誠22世紀医美支援事業団（石川県金沢市、理事長：菊地 勤）は、「入院生活を豊かにするデザイン」をテーマにした「医美同源デザインアワード」の作品募集を開始しました。作品の応募締め切りは、2025年2月12日（水）18:00必着です。

“アートやデザインの視点を取り入れることで、入院中の患者さんにより豊かな病院での過ごし方を提供することができるのではないか？”という考えから、「入院生活を豊かにするデザイン」をテーマに作品募集をしている当アワード。今年度で10回目を迎え、毎年国内外から100点以上の作品応募があります。医師・デザイナー・建築家などの6名で審査を行い受賞作品を決定します。

### ■昨年度の大賞作品



昨年度の大賞作品「G x R  
(Gamification x Rehabilitation)脳卒中のリハビリをゲーミフィケーションで楽しく」  
金丸 侑平／リハビリを楽しくするツール。

### ■審査員と、求める作品像



審査委員長  
秋元雄史（東京藝術大学名誉教授、  
金沢21世紀美術館特任館長）

「『入院生活を豊かにするデザイン』をテーマとし、今回で10回目を迎える医美同源デザインアワードは、創造性に富んだユニークな提案を求めている。患者さんと家族、医師など、関係する皆が幸せになれるアイデアを募集する。」



審査員  
荒井利春（プロダクトデザイナー、Arai UD  
Workshop代表、金沢美術工芸大学名誉教授）

「病院を日常と連続した生活の場としてとらえると、そこでの機器や家具等々がどうあれば良いのか？新たに求められる機能や姿形とは？そのリアルな発想を具体化したデザインを期待したい。」



審査員  
浦淳（認定NPO法人趣都金澤理事長、  
株式会社浦建築研究所代表取締役）

「画一的とも言われる病院の計画やデザイン、プログラムに対する斬新なアイデアに、『医療の現場』という特殊な環境も考慮された、具体性ある提案を期待します。」



審査員  
水口克夫（アートディレクター、  
Hotchkiss代表取締役社長、  
京都芸術大学大学院教授）

「病院で生活する人への想像力が、オリジナリティある課題の発見につながります。その課題を解決したいという想いが、誰も見たことのないデザインを生み出します。良いデザインは良い未来をつくりだすはずです。」



審査員  
菊地勤（医師、医療法人社団 博友会理事長、  
石川県医師会理事）

「病気の事を忘れ笑顔を取り戻したり、不便や嫌だなどと思うことを解消できるデザインがあると、生きる力が漲るのではないのでしょうか。『生きる』を支えるデザインの創造が、求められると思います。」



審査員  
藤村楓（医療法人社団 博友会 金沢西病院  
手術室看護師）

「日々の看護師業務の中で、心の健康が体の健康に直結していることを実感しています。そのため医美同源デザインアワードでは、安全性や機能性を備えながら、使う人の心が元気になるような作品を期待しています。」

# 作品募集期間:

2024年12月16日(月)～2025年2月12日(水) 18:00必着

## ■募集部門

【プロダクト】・・・患者さんが手にしたり目にするプロダクト(衣類、食器、医療具、福祉用等)のデザイン。

【コミュニケーション】・・・患者さんと家族、友人、医師や看護師とのコミュニケーションへのデザイン。

【空間】・・・患者さんや家族・友人が過ごす病室や談話室、待合室などの空間デザイン。

## ■審査フローは6ステップ(応募にあたっての詳細はFacebookをご確認ください)



公式Facebook

【1. 応募】 2024年12月16日(月)～2025年2月12日(水) 18:00

①「応募者情報」②「プレゼンテーションシート」③「作品イメージが分かる物(実物・模型・画像・イラスト・動画等)」を提出。

【2. 審査】 2月下旬

- ・審査員6名による審査を行い、優秀賞9作品を決定。
- ・受賞者には直接通知し、結果はウェブサイト等で発表します。

【3. 最終審査会】 2025年3月2日(日)14:00～17:00

- ・優秀賞受賞者は、オンラインにて審査員にプレゼンテーション。「大賞」「部門別最優秀賞」を決定します。

【4. シンポジウム】2025年3月14日(金)18:30～20:00

- ・シンポジウム「病院の暮らしをデザインする」を開催。大賞・部門別最優秀賞の受賞者プレゼンテーションと、審査員によるパネルディスカッションを開催。

【5. 展示】 2025年3月中旬～5月下旬 ※予定

- ・入賞作品、解説文は「金沢西病院」などで展示します。
- ・展示終了後、返却希望の場合は着払いにてご返却いたします。

【6. 実現化】 6月以降

- ・優秀かつ実現化する物は、病院内で実際に使用する可能性があります。

### 【一般社団法人菊地誠22世紀医美支援事業団とは？】

文化県「石川」、文化都市「金沢」において、美術や芸術とのふれあいが人間のもつ生きる力の源であり、また再生装置としての役割を果たしてくれるという「医美同源」の考え方に基づき、医療とアートを通じて地域と社会に貢献することと、同理念のもと活動するアーティストに対する助成や支援を目的に2015年7月設立。

### 【医美同源デザインアワード&シンポジウムとは？】

2015年に一般社団法人菊地誠22世紀医美支援事業団が開始したデザインアワードとシンポジウム。毎年1回開催し、2025年で10回目の開催を迎える。毎年平均して100点程の作品応募と、70-80名程のシンポジウム来場者を迎えて開催している。



(上段)審査員による一次審査の風景／(下段)シンポジウムの様子。昨年度大賞受賞者の発表場面と、パネルディスカッションの様相。